

## 第51回 入れ歯の寿命

入れ歯を何年も長く使用している、入れ歯が緩くなったり、入れ歯の歯の部分がり減って平らになるなどの状態になってきます。どんなに良い入れ歯でも、長く使用すると少しずつ合わなくなってくる。緩い入れ歯を無理して使っていると、入れ歯が接触する歯ぐきの顎の部分が痩せやすくなると考えられます。歯ぐきの顎の高さや幅は入れ歯を支えるのに重要で、これが痩せてくると入れ歯を安定させるのが難しくなります。さらに、入れ歯が緩くてガタガタしているわけですから、歯ぐきに強く当たる所に傷を作ってしまうこともあります。

同じ入れ歯を10年、20年と使用されている方もいらっ

しゃいますが、そういった方は稀な方です。ほとんどの場合、緩い、噛み合わせがすり減って良く噛めない、という理由で何年かに1回作りなおすこととなります。

医学的には3年～5年で修理または新製を検討するのが一般的です。緩くなってきた場合、入れ歯の内面に専用の材料で裏打ちすることによって再びピッタリ合わせることができるとあります。ピッタリ合わせられれば、暫くは同じ入れ歯を使用していることが可能になります。もし、入れ歯が緩いと感じるようでしたら我慢して使用せず、かかりつけの歯科医院などで適切な処置を受けましょう。